

第1回登別市地域公共交通活性化協議会 議事録

開催概要

日 時 令和2年8月27日（木） 14：00
場 所 登別市民会館2階 中ホール
出席者 別紙のとおり

議事内容

1 開会

2 委嘱状交付

小笠原登別市長から新たに委員となった5名に委嘱状を交付

3 登別市長あいさつ

令和2年度第1回登別市地域公共交通活性化協議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げたいと思います。

本日お集りの皆様におかれましては、日頃より当市の公共交通行政をはじめ、市政全般に対し深いご理解、そしてご協力をいただいておりますことをこの場をお借りして感謝申し上げます。

また、業務多忙のなか、このようにご参加いただきましたことを重ねて感謝申し上げます。

ただいま委嘱状を交付させていただきました。令和3年3月31日までどうぞよろしくお願い申し上げます。

当市が抱える公共交通に関する様々な課題を年度当初から協議することと予定をしておりましたが、ご存知の通り新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、本日今年度の初となる協議会となっております。

会場もこのように間隔を空けさせていただいて、席を配置しております。

発言の際においては多少ご不便をおかけすると思いますが、どうぞご理解ご協力をいただきたいと思います。

公共交通は利用者からの視点に立ちますと、高齢者や運転免許証の返納者など、特に交通弱者といわれる方にとっては非常に重要性が増してくる一方で、事業者からの視点に立ちますと、運転手不足をはじめ、新型コロナウイルス感染症による利用者の大幅な減少、そして新たな生活様式に対応した運行方法の実施など、取り巻く環境は非常に厳しいものであると認識をしております。

公共交通に関する課題はすぐに解決できるものではないと思っておりますけれども、7月12日に白老町で既に開業しております、民族象徴空間ウポポイ、このウポポイは国内

だけではなくて、世界各国から来場者が見込まれるなど、非常に明るい話題もございます。

各分野からお集まりいただいた委員の皆様方のお知恵を拝借しながら、諸課題の解決に向けて共に取り組んで参りたいと思っておりますし、持続可能な公共交通の体制を構築していくことで、引き続き登別市が存続、継続できる形にしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

話題が少し変わりますけれども、8月1日に登別市は市制施行50周年を迎えました。

本来であれば、その同じ日に記念式典を開催する予定でしたが、感染拡大防止の観点から、記念式典を延期することになり、今のところ、11月28日に開催は予定をしているところでございます。

11月28日に向けて、これを機会にあらためて10年先や50年先の市民の皆様には、この登別市に住んでいて良かったと、また観光客の皆様にはこの登別に来て良かった、また来たい、そういった思いをもっていただけるように継続的な取り組みを今後も実施して参りたいと考えておりますので、重ねて皆様方のご協力をお願いします。

本日参加された皆様方の今後益々のご健勝、そしてこれからのご活躍を祈念申し上げます、挨拶にさせていただきますと思います。

改めて本日お忙しい中、このようにご出席いただきましたことをお礼申し上げます。ありがとうございます。

【あいさつ後、小笠原市長退席】

4 会長の選任・副会長の指名について

新会長に登別市市民生活部千葉部長を選任することで全会一致。

千葉新会長が有村幹治副会長を指名。

【千葉新会長あいさつ】

我々は市民の皆様が、登別市がよいまちになって幸せになっていただけるということを目指して色々仕事をさせていただいておりますけれども、その中の業務の一つに市民の皆様の活動しやすい環境づくりというものがあるかと思います。

それを実現するためには、地域公共交通が重要になると考えております。

この協議会の中で皆様のお力をお借りしながら、地域公共交通の新しい方針を考えていきたいと思っておりますので、どうぞ皆さまご協力よろしくお願いいたします。

5 会議の成立報告

- ・ 本日の協議会委員出席者数は13名。
- ・ 委員の過半数が出席しており、登別市地域公共交通活性化協議会設置要綱の規定に基づき、会議が成立していることを千葉会長が報告。

6 議事録署名委員の氏名

千葉会長が伊藤委員と木村委員の2名を議事録署名委員に指名。

7 議事

(1) 「登別市をより良くするためのアンケート結果」

説明者 日本データーサービス株式会社

調査結果資料に基づき、調査の概要及び各ページの分析結果を説明した。

(2) 「JR 登別駅周辺コミュニティバス等調査事業業務委託の業務報告」について

説明者 日本データーサービス株式会社

別紙資料に基づき、項目別に業務内容及び成果の概要を説明

【千葉会長】

アンケート結果において、登別市に特化した傾向はあるのでしょうか。

【日本データーサービス株式会社】

- ・ ほとんどの設問が他市町村の事例と変わらないが、唯一、外出の際に困っていることという設問で、「ほとんど困らない」という回答が出ているのが特徴です。
- ・ 他市町村の分析では、高齢になればなるほど困っている割合というのが増えていくのですが、登別市では75歳までは困っていないという状況です。
- ・ 公共交通に対しては、現時点で絶対に必要との意見がないという分析をしています。
- ・ 新たな公共交通の導入についても、今すぐ必要というよりは、将来的に必要なだという回答が出ています。
- ・ 喫緊の課題というよりは、今後の高齢社会が進む中で、事前に準備や調査をしながら具体的なやり方を検討する必要があるのではないかと考えます。

(3) 登別市の公共交通空白地域について

説明者 日本データーサービス株式会社

別紙資料に基づき、登別市の公共交通勢力図を説明

【千葉会長】

空白地域については関係する計画と整合を図っていきたいと思いますし、また、具体的にどうするかというような検討をしていきたいと考えております。

(4) 今後のスケジュールについて

説明者 登別市地域公共交通活性化協議会事務局

別紙資料に基づき、今後の協議回開催予定等のスケジュールを説明

(5) その他

登別市で今回新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施した公共交通機関への支援内容を説明。

※説明の概要

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大している中でも、住民などの移動を支えるために営業を継続した市内に本社や営業所を置くバス事業者及びタクシー事業者に対し、マスクを提供した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用し、市内に本社や営業所を置くバス事業者様とタクシー事業者様を対象に飛沫感染予防対策に関する補助を実施する。

【千葉会長】

公共交通事業者の方から、新型コロナウイルスに関する影響ですとか、取り組んでいる状況などを簡単に説明していただきたいと思います。

【伊藤委員（道南バス）】

- ・ 登別市からのマスクの提供や補助に対しお礼を申し上げます。
- ・ 利用者の傾向として、いち早く観光客の方の減少がありました。
- ・ 市内路線では4月下旬からは外出控えもあり、平日でも土日祝運行という形を実施していましたが、8月17日から平常運行に戻りました。
- ・ 都市間バスについては、運休等していますが、ウポポイが開業しましたので、その段階から登別温泉～札幌、登別温泉～新千歳空港、どちらもウポポイ経由便1往復運行を開始しました。
- ・ 現在においても、札幌行き、新千歳空港行き、未だ一部減便という形での運行をしています。
- ・ 会社としましては、感染予防という形での消毒、車内の換気等に努めていますので、今後ご利用されるお客様のマスクの着用、消毒のご協力をお願いしながら、バスの利用促進をPRしていきたいと考えています。

【小田委員（室蘭ハイヤー）】

- ・ 話す内容が重複してしまうが、登別市にはマスクの提供や飛沫防止の対策と色々やっただけ、ありがたく思っています。
- ・ 室蘭ハイヤーは室蘭市に本社があり、営業所が登別温泉にあります。
- ・ 室蘭市内では5月に利用客減少のピークを迎え、登別市内は、前年対比でほぼ半分くらい売り上げとなっている状態です。
- ・ 室蘭市内から幌別方面に10数台営業に行きますが、そちらの方は、7月以降、前年対比で90%くらいお客様が戻ってきている状態です。

- ・ 登別温泉に営業所がありますので、利用されるお客様は温泉街のお客様、また、JR登別駅から登別温泉に行くお客様が多いです。
- ・ 今後の課題としては、登別温泉の方はお客様が少ない状態ですので、観光客以外のお客様に対するサービスをしっかりやって、利用者の減少をカバーしていければと思っています。

8 情報提供

白老町で運行している地域循環バス「元気号」の登別延伸について

【白老町企画課】

※情報提供の概要

- ・ 白老町は近隣市である苫小牧市や登別市への買物や通院等の生活移動が多くみられる。
- ・ 白老町では白老町地域公共交通網形成計画の6つの基本的な方向性の一つとして、「元気号」を近隣市へ乗り入れする検討を進めてきた。
- ・ 近年、特に竹浦地区、虎杖浜地区の住民から、町の中心部に行くよりも登別市へ行く方が近いことから、JR登別駅周辺まで「元気号」を延伸できないかという声が多くなっている。
- ・ 住民の要望が大きくなっていることと、高齢化の進行を無視できないということもあり、白老町では登別市への延伸を早期に行ないたいということで検討をしています。
- ・ 延伸先の想定としては、現在、「元気号」は虎杖浜地区の臨海温泉という所まで運行しているが、JR登別駅周辺にあるバス停までの延伸を検討している。
- ・ 「元気号」を登別市内へ延伸させるためには、白老町の地域公共交通活性化協議会の承認のほか、登別地域公共交通活性化協議会でも承認していただく必要がある。
- ・ 延伸時期は、令和3年4月からを想定しているので、遅くとも来年2月上旬までには白老町、そして登別市双方の活性化協議会の承認が必要となる。
- ・ 白老町としては延伸案の作成、また、交通事業者との調整を図るほか、登別市地域公共交通活性化協議会にも逐次情報共有を行いながら、進めていきたいと考えている。

【千葉会長】

ありがとうございます。ただ今の件についてご質問等ございますでしょうか。

【委員A】

説明の中で、まずは苫小牧ではなくて登別市ということだったが、事例として今の白老町さんが考えているような他市へのコミュニティバスの乗り入れという事例があるのでしょいか。

そして、受け入れる側の協議会としてどういう課題をもって議論を進めていったらいいのかというところを、もし知見があればお聞きしたいです。

【日本データサービス株式会社】

コミュニティバスについて市町村内で完結している路線を隣接した市町村に乗り入れる事例は本当に少ないですが、乗り入れの検討を始めているという自治体が増えてきている状況です。

【白老町企画課】

登別市の地域公共交通活性化協議会で検討いただく課題ですが、元気号は料金100円で運行しています

白老町から町民が登別市に向かう一方で、登別市から白老町へ運行する便に登別市民が料金100円で乗れてしまうと、交通事業者に打撃を与えてしまう可能性があるのではないかと考えています。

【委員A】

ありがとうございます。白老町からJR登別駅界限に來られて病院なり買い物、ということであれば登別市にとっても経済効果があると思うのですが、既存事業者への影響の可能性の話があったかと思います。

白老町のコミュニティバスに登別市民が100円で乗って、例えば、ウポポイまで行けるものであれば、そのコミュニティバスに乗車できる可能性はあるのでしょうか。

その辺をちょっとお聞きしたいのですが。

【白老町企画課】

延伸させる路線につきまして、白老町から登別市の方面にはJR登別駅周辺のバス停という検討をしていますが、町内につきましてどこまで行くのかということは検討する必要があります。

【千葉会長】

協議会のスケジュールとして、11月と年度末に協議会の開催を考えています。

申請期限を考慮すると協議会では11月に延伸について判断することになるのかなと思います。

まずは、具体的な延伸案があつて、協議会では検討できるとものと思いますので、白老町さんには情報を提供していただいて、協議会委員の皆様へ延伸案を示しながら、協議会での検討を進めるというスケジュールでよろしいでしょうか。

11月までに資料が出来るのか分かりませんが、なるべく早く資料をいただいて、それを皆様にお配りして、検討していただくということで細かく再度調整したいと思います。

9 閉会

【千葉会長】

以上をもちまして、令和2年度第1回登別市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。

本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。お忘れ物が無いようにお帰り願いたいと思います。ありがとうございました。

以上